

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第111号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成20年12月9日 19時30分ごろ	
発生場所	千葉県木更津港防波堤南側付近 (概位 北緯35°22.7' 東経139°53.9')	
事故等調査の経過	平成21年5月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 第十一高神丸、710トン	
船舶番号、船舶所有者等	134116、有限会社益井組	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	機関室直下の右舷船尾船底外板に小破口	
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、水和固化体を積み込み、木更津港防波堤南側で航路筋の北側を速力約5ノットで東進中、平成20年12月9日19時30分ごろ、船底接触と思われる傾きを感じ、船体を点検したところ、機関室の船底に微量の浸水を認め、応急修理し航海を継続した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 1 海象：潮汐 下げ潮の末期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、投錨場所付近の水深や潮高の調査を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、夜間、木更津港防波堤南側付近において、本船が投錨場所に向け航行中、同場所付近の水深及び潮高の調査を適切に行わなかったため、海底に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	